

【声明】暴力・暴言の根絶と、子どもたちの笑顔を守るための緊急メッセージ

愛知県ドッジボール協会に所属する全ての指導者、チーム役員、保護者、そして関係者の皆様へ。

日頃より本協会の活動およびドッジボール競技の普及・発展に多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本協会では、子どもたちの健全な心身の育成を最優先に掲げ、その一環としてチーム役員・指導者の皆様への「指導者資格の取得必須化」を進めてまいりました。これは、正しい知識と高い倫理観を持って子どもたちに接していただくための最低限の基盤です。

しかしながら、大変遺憾なことに、今なお指導現場における暴力や不適切な行為に関する通報・相談が後を絶ちません。

ここで改めて、愛知県ドッジボール協会理事長として、強い決意をもって宣言いたします。

「愛知県ドッジボール協会は、いかなる理由があろうとも、暴力を絶対に認めません。」

私たちが根絶すべき「暴力」とは、拳を振るうといった身体的な体罰ではありません。

●言葉の暴力（暴言・威圧）の絶対禁止

「何やってんだ」「帰れ」「やる気がないならやめろ」といった、子どもたちの尊厳を傷つけ、恐怖で支配しようとする言葉は、魂を傷つける重大な暴力です。

●過度なペナルティ（精神的負荷）への配慮

度を越えた長時間のペナルティや、見せしめのような罰則は、指導ではなく「精神的虐待」にほかなりません。子どもたちの心に深いトラウマを植え付ける行為は、断じて許されません。

ドッジボールは、子どもたちが仲間と力を合わせ、互いを尊重し、心から楽しむ中で人間性を育むためのスポーツです。勝利至上主義に陥り、子どもたちの笑顔や健やかな成長を犠牲にすることは、本末転倒です。

指導者の皆様、今一度ご自身の指導を振り返ってください。その声かけは、本当に子どもたちの未来を思ったものですか？ 恐怖ではなく、ドッジボールの楽しさと情熱で子どもたちを引っ張っていきましょう。

今後、協会としては通報のあった事案に対して厳正に対処するとともに、クリーンで安全なスポーツ環境の徹底に努めてまいります。

子どもたちが安心してボールを追いかけ、輝ける場所を共につくっていきましょう。皆様の深いご理解と、毅然とした行動をお願い申し上げます。

2026 年 6 月 26 日

愛知県ドッジボール協会 理事長 山田強志